

東北大学

統合化学国際共同大学院プログラム

令和 5 年度 4 月期 (Spring, 2023)

学生募集要項



東北大学 大学院 理学研究科・薬学研究科・工学研究科・農学研究科
情報科学研究科・生命科学研究科・環境科学研究科

1. 統合化学国際共同大学院プログラムの募集人員

統合化学国際共同大学院プログラム（以下、本プログラムという。）において令和5年度4月期は若干名の大学院生を募集する。

2. 出願資格

本プログラムに参画している下記の研究科・専攻の大学院に所属する大学院生であり、以下の要件をいずれも満たすものであること。

- a. 令和5年4月の時点で、原則として当該研究科の博士課程前期2年の課程の2年次に在籍又は在籍予定の者。また、同時点で博士課程後期1年次に在籍予定で在籍期間が3年以上ある者と薬学履修課程の1年次にすでに在籍している者も対象とする。
- b. 化学関連の分野において、海外の連携大学・部局との国際共同指導による博士論文研究を行うことを希望し、指導教員の強い推薦があり、本プログラムに所属することが相応しいと判断される者。

※ 本プログラムは博士課程前期2年の課程から博士課程後期3年の課程につながる一貫教育を原則としているので、後期課程への進学を希望しない者は本プログラムへ申請することはできない。

【本プログラムに参画している研究科・専攻】

理学研究科：化学専攻

工学研究科：応用化学専攻、化学工学専攻、バイオ工学専攻

薬学研究科・農学研究科・情報科学研究科・生命科学研究科・環境科学研究科の

5研究科：全専攻

3. 出願手続

受付期間：令和5年1月20日（金）～1月31日（火）（1月31日必着）

受付場所：国際共同大学院支援事務室（詳細は次ページ末尾参照）

【郵送の場合】

郵送先：国際共同大学院支援事務室 GP-Chem 担当

注意事項：郵送の際は、封筒に「統合化学国際共同大学院プログラム出願書類在中」と朱書きし、必ず簡易書留で郵送すること。

4. 出願書類

次の出願書類一式を調べて受付期間内に出願すること。

出願書類 GP-Chem_Form_A から GP-Chem_Form_C は添付の様式を使うこと。

- 履修願書（GP-Chem_Form_A）
- 出願理由書（GP-Chem_Form_B）
- 受入予定教員による推薦書（GP-Chem_Form_C）

- 成績証明書の原本（学部と大学院のもの）
 - ※ 提出する証明書が英語以外の外国語の場合は、和訳または英訳を添付すること。（出願者本人による翻訳可）
- 英語能力試験スコアの写し（TOEFL®テスト、TOEIC®テスト、IELTS等のスコアを有する場合）
 - ※ 英語能力試験のテストスコアが提出できない者は、国際共同大学院支援事務室 GP-Chem 担当と相談すること。
 - ※ TOEFL、TOEFL iBT、TOEFL ITP および TOEIC はエデュケーショナル テスティング サービス（ETS）の登録商標である。
 - ※ 不備のある出願書類は受理しない。
 - ※ 出願後は、願の取り下げ及び出願書類の記載事項の変更を認めない。出願書類は一切返却しない。
 - ※ 出願書類に虚偽の申告をした者については、本プログラムに合格した後でも合格を取り消すことがある。

5. 選抜方法

出願書類の審査及び面接試験により選抜する。
令和5年2月27日（月）に行う予定である。

※ 詳細は後日出願者に個別に連絡する。都合により日程変更の可能性もある。

6. 合格発表

令和5年3月16日（木）に本人宛に電子メールにて通知予定。

7. 経済的サポート

本プログラムに選抜された大学院生に対しては、主体的に独創的な博士研究を計画・実践し、国際的に活躍する人材となるための経済的支援を行う。他の経済的支援を受けている場合は相談すること。

8. その他

本プログラムに採用された場合、日本学術振興会特別研究員への申請を原則とする。
本プログラムの他に、複数の学位プログラムへ重複して応募することも可能であるが、複数のプログラムに合格し重複履修を希望する場合は、その可否について個別に検討するものとする。
ただし、学位プログラムからの経済支援を重複して受給することはできない。

受付場所及び問い合わせ先：国際共同大学院支援事務室（GP-Chem 担当）

〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3
東北大学 大学院 理学研究科事務棟 2F [H-11]
Phone : 022-795-5609
Email : gp-chem@grp.tohoku.ac.jp